

かめっ子だより No.019

令和8年5月12日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

小さなお客さんたちが来室！ 学校探検の下準備

7日(木)、校長室に小さなお客さんたちがやって来ました。目的は、私へのインタビュー。「校長室はどんな場所ですか?」「校長室には何がありますか?」「何のトロフィが置いてありますか?」「校長先生はどんな仕事をしますか?」など、2年生のインタビュアーたちにしばらくの間、質問攻め(?)にあいました。

なぜ、インタビューに来たかという、2年生は19日(火)に1年生と学校探検をします。2年生が1年生を連れて学校内を案内するのです。校長室を担当する班の子が、校長室はどんなところかを説明するための下準備として、インタビューにやって来たということです。校長室の他にも職員室や理科室、外国語教室などでもインタビューが行われていたようです。さて、どのように紹介文をまとめ、1年生を案内してくれるのでしょうか。



先生の卵(?)たちが、亀井小学校へ実習しに来ました

7日(木)は5年1組の教室で、8日(金)の午後は3年1組の教室で、見慣れない人の姿がありました。誰かといいますと、大阪教育大学の2回生の学生と八尾翠翔高等学校の3年生の生徒で、大学生は学校インターンシップとして、高校生は教職実習で亀井小学校にやって来たのです。

「学校インターンシップ」は教育実習ではなく、学校という職場にて、学校現場での対応力と実践的指導力を高め、教員に必要な資質を養うための研修です。学校現場からみますと、教職員の補助的な活動をしていただきます。「教職実習」は実習を通して、教職員から仕事への取り組み姿勢や、教師の仕事のやりがい等を学ぶものです。

学生・生徒とはいえ、児童から見れば“先生”です。子どもたちとしっかり関わってもらうことに期待しています。大学生はこの後8回、高校生は6月に2回、来ていただく予定です。

